

Roborock Q10P+

ロボット掃除機 取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。



目次

04	安全上のご注意
06	国際記号の説明
07	製品概要
09	使用前の準備
11	アプリへの接続
11	操作方法
13	お手入れ
16	バッテリーの取り外し
17	基本仕様
17	よくあるご質問
19	お問い合わせ先と保証情報
20	保証書
21	保証規定

安全上のご注意

本書には製品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。本書はすぐに参照できるようお手元に保管してください。

誤った使い方によって生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容
 注意	「軽傷を負う、または物的損害を負う可能性がある」内容

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない内容	 しなければならない内容
--	--

■ 本体

警告

- Ⓢ 電気カーペット、温冷送風機、フットスイッチなど床面付近に操作部がある機器の近くで使用しないでください。(誤作動の原因)
- Ⓢ 周囲温度が40℃以上または4℃未満の環境や、トイレ、風呂場などの水回りで使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- Ⓢ 乳幼児や子どもを含む、自分で意思表示できない人や、自分で操作できない人には、使用させたり遊ばせたりしないでください。(けがの原因)
- Ⓢ 水洗い・水拭き可能と記載された箇所を除き、お手入れに濡れた布や液体を使用しないでください。(感電・故障の原因)
- Ⓢ 本製品をろうそく、線香、たばこの火、ストーブなど火気のある場所では使用しないでください。(火災の原因)
- Ⓢ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- Ⓢ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- Ⓢ タバコ、マッチ、熱い灰など、燃えているものや煙が出ているものを吸い上げないでください。(火災の原因)
- Ⓢ 本製品を濡らさないでください。充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- Ⓢ 灯油、アルコール、シンナー、コピー紙のトナーなど引火性のあるもの、油分や他社洗剤などは床から取り除き、吸い上げないでください。(火災の原因)
- Ⓢ 本製品を掃除またはメンテナンス（ダストボックス・ゴミ収集ボックスの清掃を除く）する前に、電源を切ってプラグをコンセントから抜いてください。(感電・火災の原因)

注意

- Ⓢ 本製品は、室内床掃除用に設計されています。屋外や、床ではない家具などの表面、商業または産業環境では使用しないでください。(破損の原因)
- Ⓢ 落下防止柵のない、ロフトや家具の上などの高い場所で本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- Ⓢ 毛足の長いカーペットでは本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- Ⓢ 産業廃棄物、ガラス、釘などの硬いものや尖ったものの掃除に使用しないでください。(破損の原因)
- Ⓢ 本体に乗ったり、重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(破損・傷つきの原因)
- Ⓢ 衣服や、髪、指などの身体部位を本体や充電ドックの開閉口、可動部、吸引口に近づけないでください。(けがの原因)
- Ⓢ 本体とドックの上に座ったり、立ったりしないでください。(けがの原因)
- Ⓢ 階段や段差のある場所には、靴やマットなどの物を置かないでください。センサーの誤作動によって本体が転倒する可能性があります。(故障・破損の原因)
- Ⓢ 本体で水を吸引させたり、水がこぼれているところで使用しないでください。(故障の原因)
- Ⓢ ドックの吸引口の近くに物を置かないでください。(故障・破損の原因)
- Ⓢ 本体とドックの上に子どもやペット、物を乗せないでください。カバー（防塵カバー）などをかけないでください。(けが・故障の原因)
- Ⓢ エアダクトを詰まらせる可能性のある小石、紙くず、その他詰まらせる物を吸い上げないでください。(故障の原因)
- Ⓢ 乳幼児や子どもが寝ている部屋で本製品を稼働させないでください。(けがの原因)
- Ⓢ 本製品は取扱説明書に従って使用してください。不適切な使用に起因する損失または損傷については、Roborockはその責を一切負わないものとします。
- Ⓢ 本製品の使用前に、他の製品のコードが掃除機によって引っ張られないよう片づけてください。(破損・傷つきの原因)

- ❶ 本製品の動作の妨げになったり、本製品が周囲の物を破損したりしないよう、掃除の前に、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものや、花瓶などの壊れやすいものを床から片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❷ 本体やドックを移動させるときは、両手でしっかり持って運んでください。本体上部のレーザースキャナーキャップ、ダストボックスを持ち上げないでください。(落下によるけが・床面の傷つき・本体の破損の原因)
- ❸ 火気・熱源、水気のない平らな床の上に本製品を設置してください。狭い場所に置いたり、吊りになるような場所に設置しないでください。(破損・傷つきの原因)
- ❹ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❺ 本体を長期間使用せずに保管する場合、フル充電し電源を切って涼しく湿度のない環境に置いてください。バッテリーが過剰放電しないように、少なくとも3か月に1回は充電してください。(故障の原因)
- ❻ 本体がドックと互換性があることを確認してください。互換性がない場合はゴミ収集や充電などに失敗します。(故障の原因)

■ バッテリーと充電

- ⓪ 指定の製品以外を充電しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❶ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❷ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ❸ 充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ❹ ドックを濡れた布で拭いたり、濡れた手で触れないでください。(感電・故障の原因)
- ❺ 不用意にリセットによって、自動ゴミ収集ドックの内部温度が安全水準を超えてしまう危険を防ぐため、自動ゴミ収集ドックを電源関連のタイマーや、電源のオン/オフを定期的に行う電源回路へ接続する外部デバイスなどには接続しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ❻ 電源電圧が、本製品に記載されている要件を満たしていることを確認してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❼ 本製品の充電には、付属のドック(モデル:AED09LRRまたはSPCD204RR、BLJ24WJ200120P-Jの電源と使用)またはRoborockが指定するドックのみを使用してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❶ 付属している電源ケーブルのみを使用してください。(破損・火災の原因)
- ❷ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❸ 電源ケーブルが損傷した場合は、直ちに使用を止め、カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。(感電・発火の原因)
- ❹ バッテリーを取り外すときは、本体を充電ドックから取り外し、電源をオフにしてください。バッテリーの取り出し手順は、P.16をご覧ください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❺ リチウムイオン電池が搭載されているため、本製品を廃棄するときは、お住まいの自治体を通して廃棄またはリサイクルしてください。(感電・発火の原因)
- ❻ 雷の影響を受けやすい場所や電圧の不安定な場所にドックを設置するときは、保護装置を装着してください。(感電・発火の原因)
- ❼ 本製品を輸送するときは、購入時の梱包状態のままの状態をおすすめします。(故障の原因)

■ 内蔵無線LAN使用上のご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、本製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
 - 産業・科学・医療用機器(電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど)
 - 免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
 - 免許を要する無線局(工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局)
 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

■ レーザーの安全性に関する情報

本製品のレーザー距離測定センサーは、IEC 60825-1:2014のクラス 1レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射は行いません。

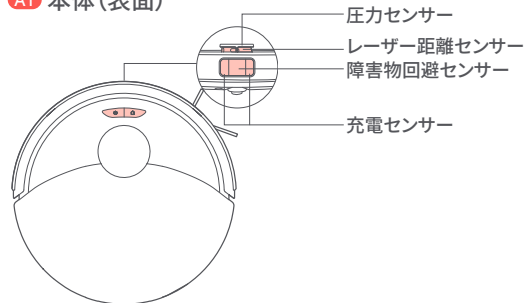
国際記号の説明



– 室内でのみ使用可能です。水に濡らさないでください。

A 製品概要

A1 本体(表面)



電源/掃除

- 長押しすると、本体のオン/オフが切り替わる
- 押して掃除を開始する

電源ランプ

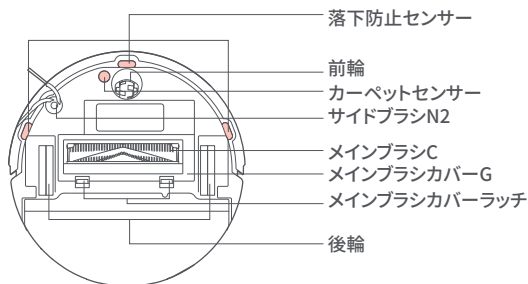
- 白: バッテリー残量が15%以上
- 赤: バッテリー残量が15%未満
- ゆっくり点滅: 充電中または起動中
- 赤色に素早く点滅: エラー
- 青色でゆっくり点滅: WiFi接続の待機中
- 青色で素早く点滅: 接続中
- 青色で点灯: WiFi 接続済み

ドック

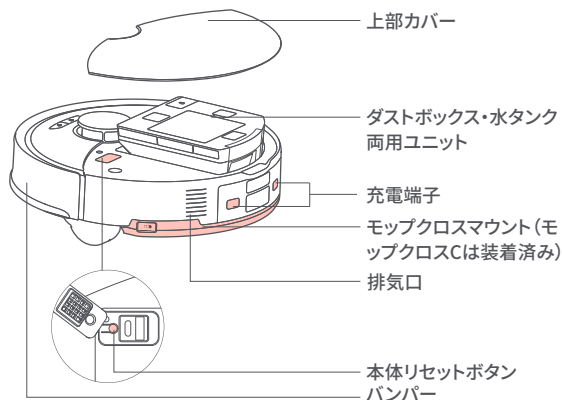
- 押すと、ドックに戻る

注意: 掃除中にいずれかのボタンを押すと、掃除が一時停止します。

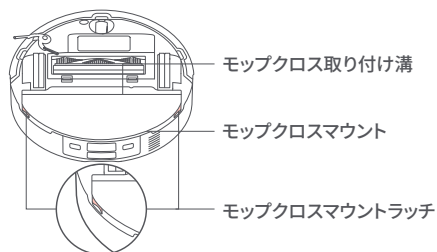
A2 本体(裏面及びセンサー)



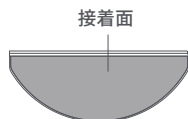
A3 本体(上部カバーを取り外した状態)



A4 モップクロスマウント (モップクロスCは装着済み)

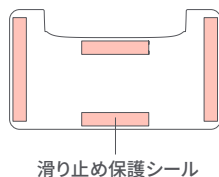


A5 モップクロスC

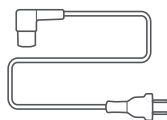


注意: モップクロスを所定の装着面に正しく取り付け
てください。

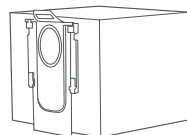
A7 防湿マット



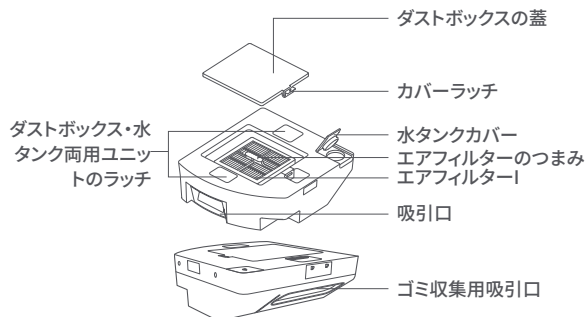
A6 電源ケーブル



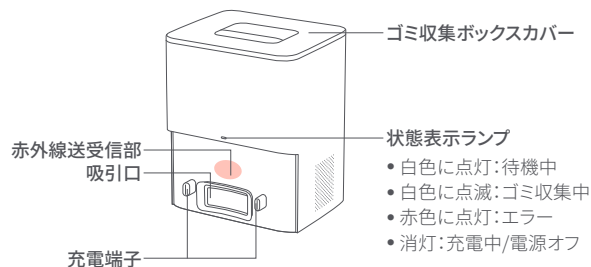
A8 ゴミ収集ドック用 使い捨て紙パックB



A9 ダストボックス・水タンク両用ユニット

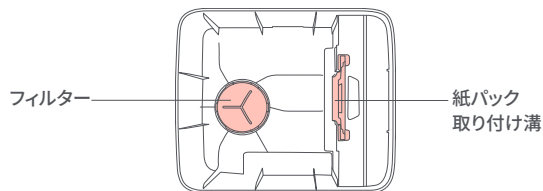


A10 自動ゴミ収集ドック

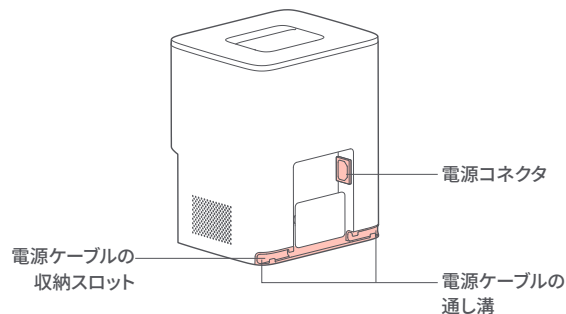


- 白色に点灯: 待機中
- 白色に点滅: ゴミ収集中
- 赤色に点灯: エラー
- 消灯: 充電中/電源オフ

(ゴミ収集ボックスカバーを外した状態)



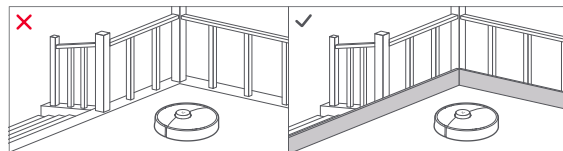
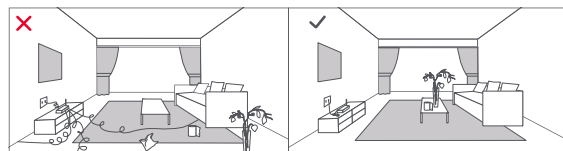
A11 自動ゴミ収集ドック (後ろから見た状態)



注意: 電源ケーブルは左右両側から通せます。

B 使用前の準備

重要な情報



1. 本製品を使用する前に、貴重品、割れやすい物、ケーブルなどの掃除機の動作を妨げるもの、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものを床から片づけてください。
2. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください。

注意:

- 初めて使用するときは、障害物などに注意しながら本体の走行状況を確認してください。
- 本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

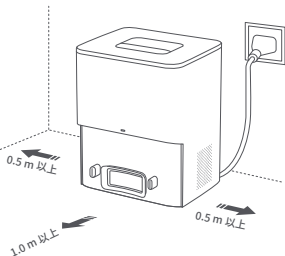
B1 ドックの設置

ドックに電源ケーブルを繋ぎ、硬く平らな床(フローリング/タイル/コンクリートなど)に設置します。ドックの両側0.5m以上、前に1m以上離してください。

設置場所がWiFiルーターの近くなど電波の届きやすいエリアであることを確認して、コンセントに繋いで、状態表示ランプが点灯していることを確認してください。

注意:

- 電源ケーブルに絡まったり、電源ケーブルを抜いたりしないよう、余分な電源ケーブルは背面の収納スペースに収納してください。
- 直射日光の当たる場所や、赤外線送信部を遮る物がある場所に設置しないでください。本体が自動で戻れなくなってしまうことがあります。

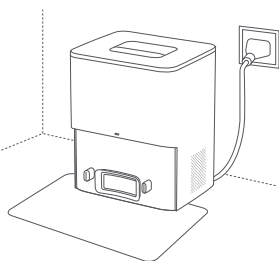


B2 防湿マットの設置

防湿マットは、ドックの前部分に少し被るように設置します。設置部分の床面を乾いた布で拭き、防湿マット裏面の滑り止め保護シールを剥がして設置してください。

注意:

- フローリングにドックを設置する際は、必ず防湿マットをお使いください。
- 防湿マットの滑り止め保護シールはゆっくり剥がしてください。
- 防湿マットは平らな表面に接着することをおすすめします。



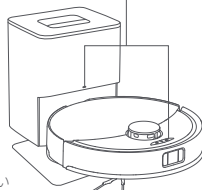
B3 本体の電源を入れ、充電を行う

本体の前面と背面にある充電センサーの保護フィルムを必ず剥がしてからご使用ください。⬇ ボタンを長押しすると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯したら、本体をドックに置き、充電を開始します。バッテリーの性能を維持するため、本体は常に充電したままにしてください。

注意:

- バッテリーの残量が少なくなると、本体の電源が入らないことがあります。本体をドックに接続して充電してください。
- 充電時は本体の電源を切ることができません。

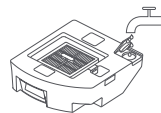
充電ドックの状態表示ランプが消灯し、本体の電源ランプが点滅:
本体充電中



B4 モップクロスを取り付け

注意: 本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

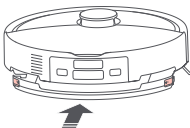
1. ダストボックス・水タンク両用ユニットを取り外します。水タンクカバーを開けて水道水を入れ、水タンクカバーをしっかりと閉じます。ユニットを水に浸けないでください。



2. モップクロスを湿らせ、余分な水分を絞ります。モップクロス取り付け溝に沿ってスライドさせて取り付けます。



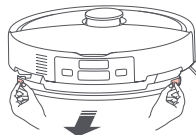
3. モップクロスを取り付けたモップクロスマウントをカチッとするまで、本体の下にスライドさせながら押し込みます。



4. 掃除後、モップクロスマウントを両側のラッチを押しながら、後方にスライドして取り外します。

注意:

- Roborock指定外の洗剤は入れないでください。水タンクが破損する恐れがあります。
- お湯は入れないでください。水タンクが変形する恐れがあります。
- ダストボックス・水タンク両用ユニットを水で洗ったり、水に浸さないでください。
- ご使用のたびに水タンク内の水は定期的に捨ててください。
- 本体は、工場出荷前に水を使用したテストを受けています。ユニット内に少量の水が残っている場合がありますが、ご了承ください。



C アプリへの接続

C1 アプリのダウンロード

App StoreまたはGoogle Playで「Roborock」を検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードおよびインストールしてください。



C2 WiFiをリセットする

本体の電源を入れ、「ネットワーク設定の準備ができました。」という音声案内が流れるまで、○と□を同時に押し続けます。電源ランプが青色にゆっくりと点滅したら、リセットは完了です。本体は、待機状態です。

注意: WiFi ルーター関連の変更、パスワードを忘れた場合、スマートフォンが接続できなかったときは、WiFi をリセットしてからもう一度本体を追加してください。

C3 デバイスの追加

Roborockアプリを開き、「デバイスを追加」または「+」ボタンをタップし、アプリ内の案内に従ってデバイスを追加します。

注意:

- アップデートにより、アプリの画面や仕様が変更される場合があります。アプリの案内に従って操作をしてください。

- この製品は、5GHzのWiFiのネットワークには対応しておりません。2.4GHzのWiFiのネットワークをご利用ください。
- 本体が5分以上待機状態が続くと、WiFiは自動的に無効となります。再接続する場合、接続する前にWiFiをリセットしてください。

D 操作方法

D1 オン/オフ

○ボタンを押し続けると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯し、本体はスタンバイモードに切り替わります。

○ボタンを押し続けると、電源が切れ、進行中の掃除が終了します。

注意: 充電中は、本体の電源を切ることはできません。

D2 掃除開始

○ボタンを押して、掃除を開始します。本体は掃除をしながら部屋をスキャンしてマップを生成し、そのマップに基づいて適切な掃除経路の計画を立てます。まず壁に沿って外周を掃除し、次に折り返し回数が最小になるようにZ字ルートで掃除します。

注意:

- 掃除の前に、床にあるコード(ドックの電源コードなど)や大切なものを片付けてください。散乱物を本体が引きずると、電化製品が切断したり、コードや物が破損したりすることがあります。
- 掃除を開始する前に、必ずモップクロスが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 本体が自動的にドックに戻るようするには、ドックから本体を起動させ、掃除中はドックを移動させないでください。
- バッテリー残量が極端に低下している場合は掃除を開始できません。掃除を開始する前に、本体を充電してください。
- 掃除中にバッテリー残量が少なくなると、本体は自動的にドックに戻って充電を開始します。充電が完了すると、中断したところから掃除を再開します。
- 本体はモップクロスマウントを持ち上げて、カーベットを掃除します。アプリでカーベットを進入禁止ゾーンに設定すると、カーベットを回避できます。

D3 水拭き掃除のみ

水拭き掃除のみを開始するときは、アプリから操作してください。メインブラシとサイドブラシが上がり、メインブラシとファンの動作が停止します。モップクロスマウントが下がります。

注意：動作音は水拭き掃除モード時のほうが吸引掃除より低くなっています。

D4 一時停止

本体が動作している時に、いずれかのボタンを押すと一時停止し、を押すと掃除を再開します。一時停止している本体のを押すと、本体は充電のためにドックに戻ります。

注意：一時停止している本体を手動でドックに接続すると、進行中の掃除が終了します。

D5 スリープ

本体は10分以上動作しないと、スリープモードに入り、電源ランプがゆっくりと点滅します。いずれかのボタンを押すと、スリープモードは解除します。

注意：

- 充電中はスリープモードにはなりません。
- 12時間以上スリープモードのままになっている場合、本体の電源は自動的にオフになります。

D6 自動ゴミ収集

本体は掃除が終了するとドックに戻り、ゴミの自動収集を開始します。手動でゴミ収集を開始する場合は、ドックにある状態で、本体のを押すか、アプリの「ゴミ収集開始」をタップしてください。ゴミ収集を停止する場合は、本体のいずれかのボタンを押します。

注意：

- 自動ゴミ収集を長期間動作させなかった場合は、本体のダストボックスのゴミ捨てを行い、吸気口のゴミを取り除くことで、最適な性能が発揮されます。
- 必要に応じて、アプリで自動ゴミ収集を無効にすることができます。
- 手動でのゴミ収集は頻繁に行わないでください。

D7 充電

自動：掃除後、本体は充電のため自動的にドックに戻ります。
手動：一時停止している状態で、ボタンを押すと、本体はドックに戻ります。本体が充電されると、電源ランプはゆっくり点滅します。

注意：ドックを見つけない場合、本体は掃除を開始した地点に戻ります。本体を手動でドックに接続し充電してください。

D8 エラー

エラーが発生した場合、電源ランプが赤色で点滅します。アプリに通知が届き、音声案内が流れるので、案内に従って操作してください。

注意：

- エラーのまま未操作の状態が10分間続くと、本体は自動的にスリープモードに切り替わります。
- エラー状態のときに、本体がドックに接続されると、進行中の掃除は終了します。

D9 おやすみモード

おやすみモードの初期設定時間は、22:00～8:00です。アプリからおやすみモードの無効と設定時間を変更することができます。おやすみモードを設定すると、設定した時間内の自動充電後の掃除の再開や自動ゴミ収集などを無効にすることができます。ランプを暗くしたり、音声の音量を下げる設定もできます。

D10 システムリセット

ボタンが反応しない、または本体の電源が切れない場合は、つまようじなどを用いて本体リセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に本体が再起動します。

注意：

- リセットすることにより、タイマー、WiFi 及びその他関連設定もリセットされます。
- 本体リセットボタンの位置は、7ページを参照してください。

D11 WiFiの接続を解除する方法

WiFiをリセットし、リセットが完了したことを確認してください。5分後、本体のWiFiは無効になり、WiFiの接続が解除されます。再度本体をWiFiに接続したい場合は、「デバイスの追加」P.11をご覧ください。

D12 工場出荷時の状態に戻す

システムリセットをしても改善しない場合は、本体の電源が入った状態で、**○** ボタンを長押ししながら、リセットボタンを1回押してください。**○** ボタンを離さず「工場出荷時の設定に戻します。これには5分ほどかかります。」という音声案内が流れるまでお待ちください。その後、本体は工場出荷時の設定に戻されます。

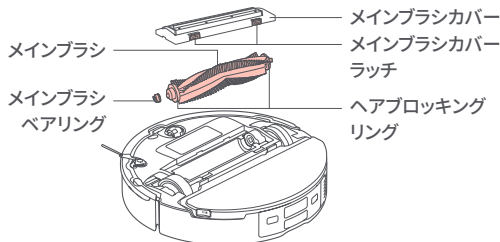
E お手入れ

注意:

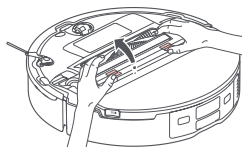
- お手入れする際は、充電ドックのコンセントを抜き、本体の電源をオフにしてから行ってください。
- 交換する頻度は実際の使用状況によって異なる場合がございます。アクセサリーの消耗が激しい場合は早めの交換をおすすめします。

E1 メインブラシ

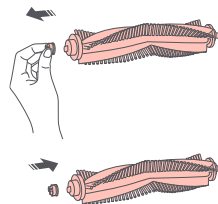
* 2週間に1回掃除し、6～12か月に1度交換してください。



1. 本体を裏返し、2つのラッチを内側に押してメインブラシカバーを取り外します。



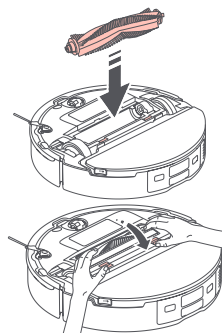
2. メインブラシを引き出し、ベアリングを図のように取り外します。メインブラシとベアリングに絡まった毛や汚れを取り除き、再度ベアリングをメインブラシに取り付けます。



3. メインブラシとメインブラシカバーを再度取り付け、カバーをしっかりと押します。

注意:

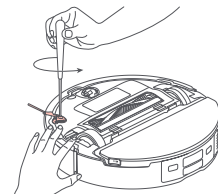
- メインブラシは水で濡らして固く絞った布でお手入れすることをおすすめします。濡れてしまった場合は直射日光を避けて乾燥させてください。
- メインブラシを洗浄するために、洗剤や除菌洗剤は使用しないでください。



E2 サイドブラシ

* 月に1回掃除し、3～6か月に1度交換してください。

1. 本体を裏返し、サイドブラシのネジを外します。
2. サイドブラシを取り外して掃除します。サイドブラシを元の位置に取り付け、ネジを締めます。

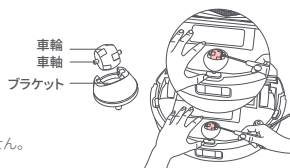


E3 前輪

* 必要に応じて掃除してください。

1. 本体を裏返し、ドライバーなどを使用して、車輪を持ち上げて取り外します。

注意：ブラケットは取り外すことはできません。



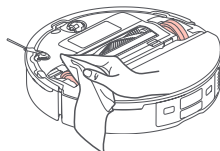
2. 車軸と車輪を水ですすいで、髪の毛や汚れを取り除きます。車軸と車輪を乾かし、ブラケットに押し込んで元の位置に取り付けます。



E4 後輪

* 必要に応じて掃除してください。

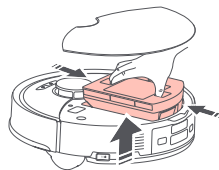
本体を裏返し、乾いた柔らかい布で後輪を拭いてきれいになります。



E5 ダストボックスと水タンクのコンボユニット

* 必要に応じて清掃してください。

1. 本体の上部カバーを開け、ユニットを取り外します。



2. ダストボックスの蓋を開け、エアフィルターを取り外し、ダストボックスを空にして清掃します。

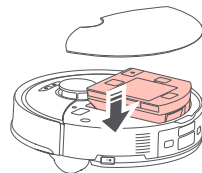


3. 水タンクストッパーを開け、タンクの未使用の水を捨てます。



4. ユニートをロボット掃除機に再度取り付けます。

注意：ご使用のたびに、モップクロスを洗浄し、自然乾燥させて臭いの発生を防いでください。水タンク内の水は、定期的に空にしてください。



E6 エアフィルター

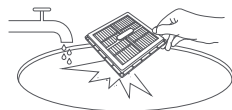
* 2週間に1回掃除し、6〜12か月に1度交換してください。

1. ダストボックスの蓋を開け、エアフィルターを取り外します。

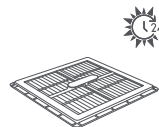


2. エアフィルターを繰り返し水ですすいで、フレームを軽く叩いて汚れを落とします。

注意：エアフィルターが損傷する恐れがあるため、ブラシなどで強く擦ったり、手で引っかかりたりしないでください。



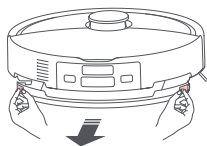
3. エアフィルターを24時間以上を目安に完全に乾かしてから取り付けてください。



E7 モップクロス

* 使用後に毎回洗浄し、3～6か月に1度交換してください。

1. モップクロススマウントを本体から取り外します。



2. モップクロスをモップクロススマウントから取り外します。



3. モップクロスを洗浄し、乾かしします。

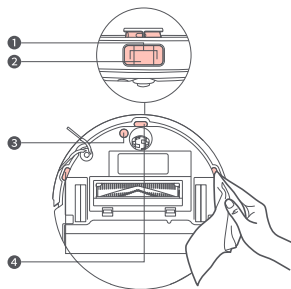


E8 本体のセンサー

* 必要に応じて掃除してください。

柔らかい乾いた布を使用して、以下のセンサーを拭き掃除します。

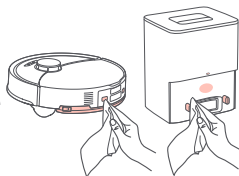
1. 充電センサー
2. 障害物回避センサー
3. カーペットセンサー
4. 落下防止センサー



E9 充電端子

* 必要に応じて掃除してください。

本体とドックにある充電端子と、ドックにある赤外線送受信部を柔らかい乾いた布を使用して拭きます。



E10 ドックの移動

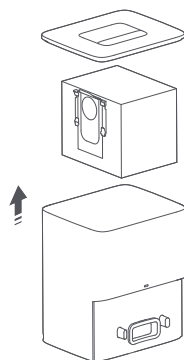
図のように、ドックの背面と前面を両手で持ち上げて運んでください。



E11 ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックの交換方法

* 必要に応じて交換してください。

1. 図のように、ゴミ収集ボックスカバーを真上に持ち上げ取り外します。使い捨て紙パックのハンドルを持って引き抜きます。

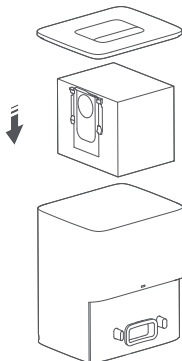


2. フィルターは乾いた布で掃除してください。



3. 新しい使い捨て紙パックを元の位置に取り付け、ゴミ収集ボックスカバーを戻します。

注意: ゴミの漏れやドックの損傷を防ぐため、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックがスロットに沿って所定の位置に取り付けられていることを確認してください。



バッテリーの取り外し

本製品を廃棄する際は、バッテリーを取り出してください。

取り出したバッテリーは、貴重な資源を守るために、充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体を通じてリサイクルいただけますようお願いいたします。

または、サポートセンターまでお問い合わせください。

バッテリーの取り出し方

* バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. 本体の電源を切ります。

注意:

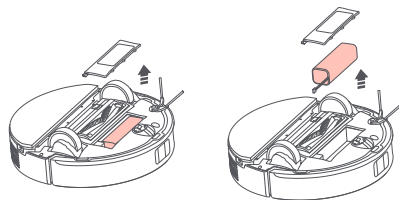
- バッテリーを取り出す前に、電池が完全に消耗していることを確認してください。
- 本体が充電ドックに接続されている場合は、バッテリーを取り出さないでください。

2. バッテリーカバーのネジを外し、カバーを取り外します。

3. バックルを押してバッテリーのコネクタープラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。

注意:

- バッテリーパック全体を取り出してください。
- 電池のショートや液漏れを防ぐために、バッテリーパックを傷つけないでください。
- 電池が液漏れして目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。



基本仕様

本体

モデル	RRA1TAL
製品型番	Q10PP02-04 (ホワイト)
サイズ	幅:353×奥行:353×高さ:99mm
重量	約4kg
バッテリー	14.4V/5200mAh (公称容量) リチウムイオン電池
ネットワーク接続	WiFi
定格入力	20VDC 1.2A
充電時間	約4.5 時間

自動ゴミ収集ドック

モデル	AED09LRR
サイズ	幅212×奥行178×高さ258.5mm
重量	約2.16kg
定格入力電圧	100VAC
定格周波数	50/60 Hz
定格入力 (ゴミ収集時)	5A
定格入力 (充電時)	0.5A
定格出力	20VDC 1.2A
充電バッテリー	14.4V/5200mAh (公称容量) リチウムイオン電池

WiFi

プロトコル	802.11b/g/n
周波数帯	2.4 GHz

注意: シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

よくあるご質問

問題	解決策
電源が入らない	• バッテリー残量が低下しています。ご使用前に本体を充電ドックに戻して充電してください。 • バッテリー温度が低すぎるか、または高すぎます。本体は4°C～40°Cの範囲で使用してください。
充電できない	• ドックが通電していない可能性があります。電源アダプタが正しく差し込まれているか確認してください。 • 接続不良の可能性があります。ドックと本体の充電端子を掃除してください。 • バッテリー温度が低すぎるか、または高すぎます。本体は4°C～40°Cの範囲で使用してください。
ドックに戻らない	• ドックの近くに障害物がある可能性があります。障害物を取り除いてください。 • 本体がドックから離れすぎています。本体をドックの近くに置いてください。
異常な動作をする	• 本体を再起動してください。
WiFiに接続できない	• WiFiが無効です。WiFiをリセットして、再度試してください。 • WiFiの電波が弱いです。WiFiの電波が届きやすい場所に本体を移動させてください。 • WiFi接続に異常があります。WiFiをリセットし、最新バージョンのアプリをダウンロードして再試行してください。 • 本製品は5GHzのWiFiネットワークに対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークに接続してください。
本体がオフラインになる	• 本体がアプリに接続されているか確認してください。電波が届きやすい場所に置いて再度確認してください。
掃除中のノイズ	• メインブラシ、サイドブラシ、前輪または後輪に異物が絡まっていると、ノイズが発生する場合があります。電源を切って掃除してください。 • モップクロスマウントの周囲に物が詰まっていないか確認してください。

問題	解決策
吸引力が低下した、または吸い込んだ埃が落ちる	• ダストボックスがいっぱいの可能性があります。ゴミを捨ててください。 • エアフィルターが詰まっている可能性があります。エアフィルターを掃除してください。 • メインブラシに異物が絡まっている可能性があります。絡まっているものを取り除いてください。
掃除予約を実行しない	• バッテリー残量が低下しています。掃除予約はバッテリー残量が 15% を超えている場合のみ有効です。
充電後に掃除が再開されない	• おやすみモードになっていないか確認してください。おやすみモードに設定した時間内は自動充電後の掃除の再開は行われません。 • 手動で本体をドックに接続した場合、掃除は再開されません。
充電速度が遅い	• 本体を高温または低温環境で使用すると、バッテリー寿命を延ばすために本体の充電速度が自動的に低下します。 • 充電端子が汚れている可能性があります。汚れている部分を乾いた布で拭いてください。
本体をドックに接続した状態でも、バッテリーは消耗しますか？	• 本体がドックに接続されている状態でも、バッテリーはごく少量ですが使用されます。充電し続けることにより、最適なバッテリー性能が維持されます。
初めての使用時から3回目までの充電は16時間以上する必要がありますか？	• いいえ、満充電後はいつでも使用することができます。
掃除しない箇所があった	• 落下防止センサーまたはカーペットセンサーが汚れている可能性があります。柔らかい乾いた布で拭いてきれいにしてください。
水拭き中に水がほとんどまたは全く出ない	• 水タンクに水が入っているか確認するか、アプリから水量設定を行ってください。 • ダストボックス・水タンク両用ユニット、モップクロスマウンが正しく取り付けられているか確認してください。

問題	解決策
スポット掃除後または手動で本体を移動させた後、充電ドックに戻ることができない	• スポット掃除後、または大幅な位置変更の後、本体はマップを再生成します。ドックが遠くにある場合、本体は充電の為に自動的に戻れないことがあります。本体を手動でドックの近くに置いてください。
ドックの状態表示ランプが赤色に点灯している	• ゴミ収集ドック使い捨て紙パックが取り付けられていません。確認して取り付けてください。
ゴミ収集時にゴミ収集機能が低下している、または異常な音がする	• メインブラシまたはメインブラシカバーが正しく取り付けられていません。確認して所定の位置に取り付けてください。 • フィルター、エアダクト、ゴミ収集ドック使い捨て紙パック、吸引口、吸気口、ダストボックスのいずれかが詰まっています。清掃して詰まりを除去してください。
自動でゴミが収集されない	• 自動ゴミ収集が無効になっています。アプリの設定を確認してください。 • ゴミ収集ボックスカバーが取り付けられていません。確認して取り付けてください。 • 本体が掃除を行わないと自動ゴミ収集は開始しません。 • おやすみモードで本体がドックへ戻ると、自動ゴミ収集は起動しません。掃除またはおやすみモードの時間を調整するか、ゴミ収集機能を手動で開始してください。

お問い合わせ先と保証情報

- お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

Roborock カスタマーサポートセンター

TEL: 0120-992-878

Eメール: support@roborock.co.jp

(営業時間: 10:00~17:00※土日祝除く)

- 修理・交換

製品の修理・交換を希望される際は、あらかじめ上記カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- ご購入後1年の保証期間中に、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常に使用した結果、発生した製品の不良につきましては、無償にて、修理・交換をいたします。
- 修理中の代替機のお貸し出しはしていません。

- 初期不良について

- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日間となります。
- 初期不良があった場合は、ご注文情報（注文番号、注文日、販売元）および製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、新品交換にて対応いたします。

※詳細は、保証規定のページをご確認ください。

保証書

モデル : RRA1TAL _____

シリアル番号 : _____

本体のシリアル番号をご記入ください。（Rから始まる 14桁の番号）
シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

ご 氏 名 : _____

保 証 期 間 : ご購入年月日より1年間 _____

ご購入日をご記入いただいていない場合、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、保証期間を設定します。

法 人 名 : _____

ご 住 所 : _____

TEL : _____

販 売 店 名 : _____

ご 購 入 日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

この度はRoborock Q10P+をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定に基づき無償交換・修理を行うことをお約束するものです。詳細は保証規定をご確認ください。交換・修理の際は、記載事項が記された保証書をご提示ください。または、購入店舗が発行したレシートや購入が証明ができる書面と保証書をご提示してください。保証書は再発行しませんので大切に保管してください。また、交換・修理対応は日本国内に限ります。

保証規定

1. 保証規定の内容

この保証規定は、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常な使用、またそれらに記載された条件下での使用のもとで本保証書記載の保証期間中に故障が発生した場合、本規定に基づきRoborockカスタマーサポートセンターが無償交換・修理を行うことをお約束するものです。また、本規定は本保証書が添付されているRoborock Q10P+ に対してお客様が期待される性能や成果、運用上の結果を保証するものではありません。

2. 保証書の効力

この保証書は、本書に記載された保証規定の条件および期間に基づいて、本保証書が添付されたRoborock Q10P+の無償交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

3. 保証の対象

この保証規定による無償交換・修理の対象となるのはRoborock Q10P+の本体、充電ドックに限ります。アクセサリ類は保証の対象外となりますので、ご了承ください。

4. お客様の負担

この保証規定による無償交換・修理を受けられる場合は、あらかじめRoborockカスタマーサポートセンターにご連絡ください。保証対象期間を過ぎている有償修理または、お客様の誤った使用に起因する故障の修理を受けられる場合は、送料などの諸費用はお客様ご自身のご負担になりますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

5. 保証期間

製品ご購入日より起算した保証書記載の期間とします。ご購入日の記入がない場合は、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、その日を基準に保証期間を設定いたします。

6. 個人情報の取り扱い

お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の保証サービス対応およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合があります。また、修理のために、弊社から修理委託している保守会社等に必要情報を預託する場合がありますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

7. 保証を受けられない場合

保証期間内であっても以下に該当する場合は有償修理とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) 本保証書のご提示がない場合。
- 2) 本保証書規定の字句及び本保証書の他の字句が書き換えられている場合。
- 3) 台風、水害、地震、落雷などの自然災害及びその二次災害、火災、公害や異常電圧による、破損や故障、紛失があった場合。
- 4) 取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法または注意事項に反するお取り扱いがあった場合。
- 5) Beijing Roborock Technology Co., Ltd. 以外の第三者またはお客様ご自身による改造、またはご使用の責任に帰すると認められる破損や故障があった場合。
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時、持ち運び時の落下や衝撃、悪条件下での放置など、お取り扱いが不適切なため生じた故障や破損、紛失があった場合。

- 7) ケーブルなど本体以外の付属品の故障や破損、消耗品の補充や仕様によって消耗、摩耗する部品の交換を行う場合。
 - 8) 本製品を正規の販売店以外から購入された場合。(フリマサイト、フリマアプリ等の個人間売買サイト等での購入または譲受も含まれます)
 - 9) その他、Roborockカスタマーサポートセンターの判断に基づき有償と判断した場合。
8. 有償修理を受けられない場合
- 以下に該当する場合は有償修理を受けられませんので、あらかじめご了承ください。
- 1) 本製品を日本以外の国で購入した場合。
 - 2) 本製品を日本国外にて使用した場合。
9. 初期不良について
- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日間となります。初期不良があった場合は、ご注文情報(注文番号、注文日、販売元)および製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、新品交換にて対応いたします。
10. 保証規定の変更
- 弊社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本保証規定の内容を変更できるものとします。この場合、保証の提供条件は変更後の保証内容によるものとします。なお、変更後の保証規定については、弊社のWebサイト等により通知するものとし、通知によりお客様は同意したものとみなします。

Roborock Q10P+ ロボット掃除機 取扱説明書

製品型番: RRA1TAL

製造元: Beijing Roborock Technology Co., Ltd.

製造元の住所: Room 1001, Floor 10, Building 3, Yard 17, Anju Road,
Changping District, Beijing, P.R.China

製品の詳細については、弊社の Web サイト: www.roborock.jp をご覧ください。
販売後のサポートについては、Roborock カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。



007001870V2.0